

ウォーキング

伊勢街道「白子から鈴鹿神戸へ歩く」

令和7年12月13日（土）

1. ルート 近鉄白子駅～勝速日神社～江島若宮八幡宮・江島公園～六面地藏～
旧伊勢街道を北に向かって歩く～彌都加伎神社～サガミ鈴鹿店～鈴鹿市駅
8.5 km (14,000 歩)
2. 参加者 伊橋健治・伊藤利男・喜吉 雄・伝田 貢・中村軍志・福本 泉・濱田 一
7 名
3. ドキュメント

今年一番の冷え込みを感じる朝であったが日が上がるにつれて風もなく、絶好のウォーキング日和となった。近鉄白子駅東口に集合。駅のすぐ傍に『勝速日神社』が祀られている。この神社は鈴鹿サーキットで行われる8耐などのレーサーが勝利と安全を願って参拝をすることで知られている。我々も今日の安全を願ってお参りした。



勝速日神社の参道



社殿

お参りの後、昔の佇まいを残す旧伊勢街道に出る。普通は伊勢に向かって歩くがこの日は反対の四日市方面に向かって歩を進める。街道の東側に江島神社が祀られその傍に江島公園があるので立ち寄った。寒い時期とあって公園には人っ子の姿はなく静かなものである。堤防に上がると伊勢湾が広々と見渡せる。ここが白子魚港で明智光秀が信長を討った時、堺を訪れていた家康が伊賀越えをしてこの白子の海から三河に命からがら立ち戻った話は今に伝えられている。



江島公園

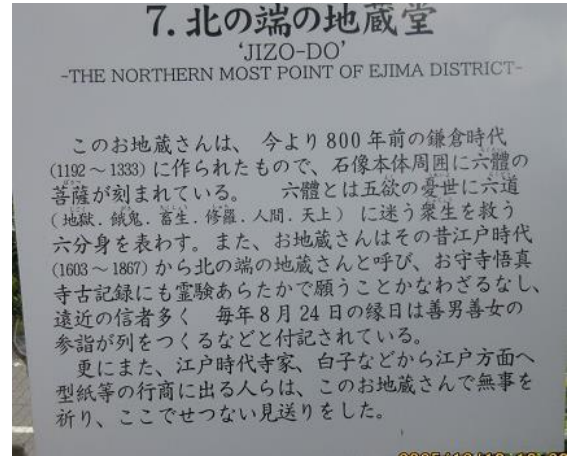


白子漁港を望む

旧伊勢街道に戻ると地元の人々に北の端の地蔵さんと呼ばれている六體地蔵堂がある。ここでも手を合わせてお参りをした。石像に六體の菩薩が刻まれていて「靈驗あらたかで願うことかなわざるなし」と看板に書かれていた。



六體地蔵堂



案内板



江島の住宅地の中を通る街道を歩いていくと道端に紅葉のもみじが美しく残り、冬の花サザンカが咲き誇っていた。フジクラ電線の正面門の芝生で一休み。この付近の旧街道は23号線と並行しているので地理に疎い自分でもどこを歩いているのかよくわかる。しばらく歩くと玉垣地区に入る。そこには彌都加伎神社が祀られているので休憩を兼ねてお参りする。「みずがき神社」と読むとのことである。23号線の下を潜って神戸に近付く。納会の場「サガミ」に丁度12時に到着して生ビールのカンパイとなる。

初詣のコースを打ち合わせや情報の交換などして楽しい時間を過ごし、来年も頑張りましょうとのあいさつで今年の締めくくりとなる。



彌都加伎神社の社殿

サガミの店先で →

